

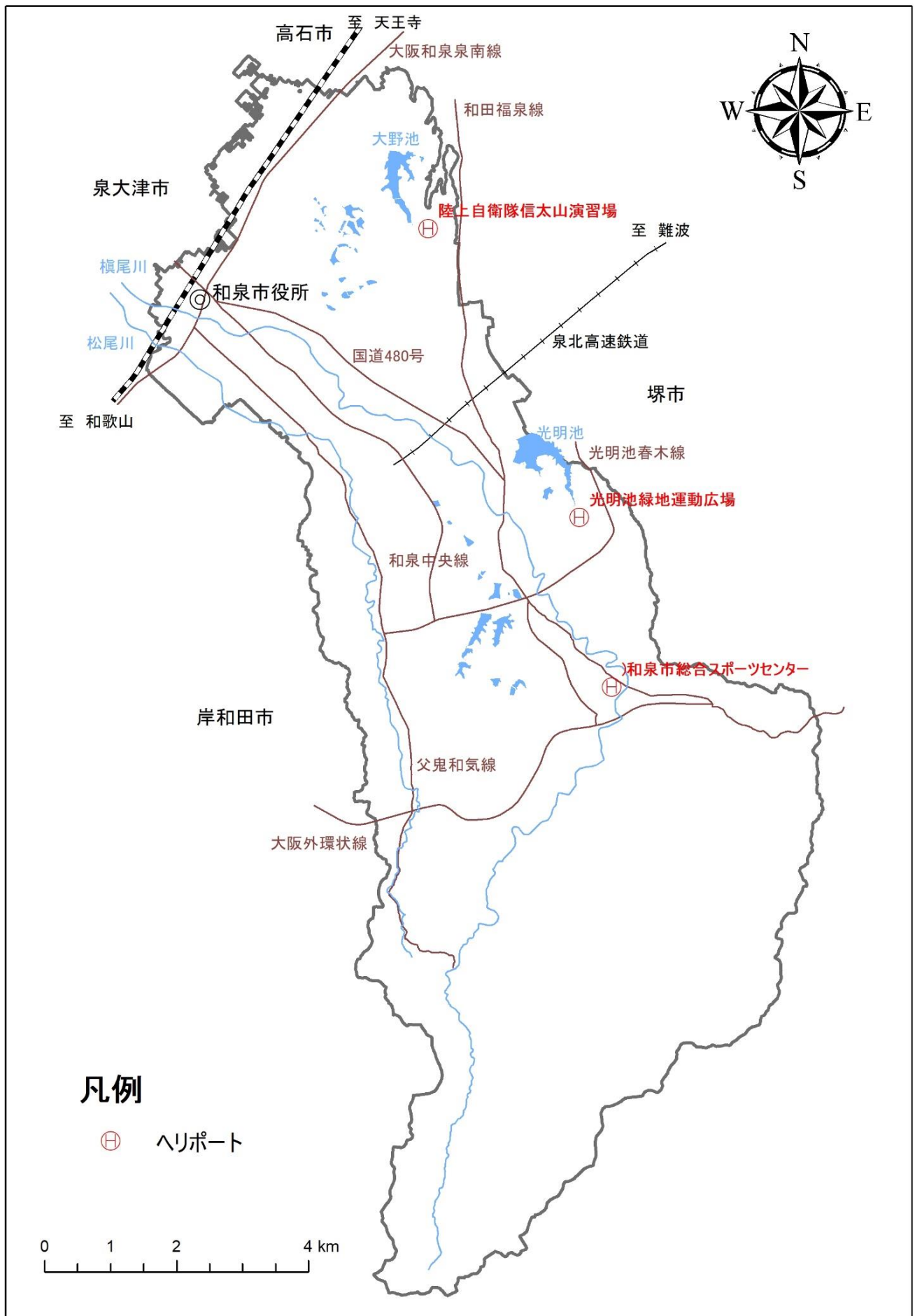
## 2-13 災害時用臨時ヘリポート一覧

| ヘリポート名                | 所在地        | 管理者                                  | 電話番号<br>(0725) | 幅×長さ     | 備考 |
|-----------------------|------------|--------------------------------------|----------------|----------|----|
| 和泉市総合<br>スポーツ<br>センター | 下宮町160     | 和泉市教育委員会<br>生涯学習部生涯学習推進室<br>スポーツ振興担当 | 99-8162        | 120× 78m |    |
| 和泉市立<br>光明池<br>緑地運動場  | 光明台三丁目36—1 | 〃                                    | 〃              | 160× 98m |    |
| 陸上自衛隊<br>信太山演習場       | 小野町他       | 陸上自衛隊<br>信太山駐屯地司令                    | 41-0090        | 330× 38m |    |

(令和3年1月末現在)

## 2-14 災害時用臨時ヘリポートの選定基準

- 1 地盤は、堅固な平坦地のこと。(コンクリート、芝生が最適)
  - 2 地面斜度6度以内のこと。
  - 3 離着陸（発着）のため必要最小限度の地積が確保できること。  
〔必要最小限度の地積〕
    - ◎大型ヘリコプター …… 100m四方の地積
    - ◎中型ヘリコプター …… 50m四方の地積
    - ◎小型ヘリコプター …… 30m四方の地積
  - 4 二方向以上から離着陸が可能であること。
  - 5 離着陸時、周辺に支障のある障害物がないこと。
  - 6 車両等の進入路があること。
  - 7 林野火災における空中消火基地の場合
    - ①水利、水源に近いこと。
    - ②複数駐機が可能なこと。
    - ③補給基地が設けられること。
    - ④気流が安定していること。
- ◎なお、受入れにあたっては次の事項に留意すること。
- 1 風向風速を上空から確認判断できるように、ヘリポート近くに吹き流し又は旗を立てること。  
これが準備できない場合でも航空機の進入方向を示す対策（例：発炎筒）をとること。
  - 2 着陸点にはHを表示すること。
  - 3 状況により消火設備、照明設備、補給設備等を整備すること。



災害時用臨時ヘリポート位置図